

小臺網試驗報告

397
403



始



大正十一年四月

小臺網試驗報告

福岡縣水產試驗場

397-403

緒言

大正四五ノ兩年度ニ亘リ本縣筑豊沿岸ニ於ケル定
置漁業適否調査ヲ遂ケタル結果翌六年度ヨリ三ヶ
年糸島郡小富士村鷺ノ首ノ漁場ヲトシ小臺網試驗
ヲ施行シ八年末之レヲ終了セルニ於テ茲ニ試驗
成績經過等ヲ録シ之レヲ刊行シテ一般當業者ニ周
知セシメントス

大正十年十二月

福岡縣水産試驗場長 金近義之助

大正
11. 12. 12
内交

一、趣 旨

本縣響灘及ヒ玄界灘ニ面スル沿海ニ鰯、鯛、鯖、鱈等ノ廻游シ來ルモノ頗ル多シト雖凡鰯ノ揚繰網、刺網、鯛ノ延繩縛網、鯖ノ旋網、鱈ノ圍刺網、流網等ニ於ケルカ如ク其多クハ運用漁具ニヨリ漁獲セラル、ニ止リ未タ嘗テ定置漁業ニヨリ一獲千金の漁利ヲ博シタルコトナシ唯一二規模小ナル大敷網ヲ設置經營シテ僅カニ之等廻游魚類ヲ捕獲セントセシモ漁場ト漁具ノ造構及敷込方法等ニ研究的注意ヲ拂フコトナク各所一様一律ノ方法ヲ以テセシカ故ニ殆ント失敗ノ歴史ヲ殘シ優秀ノ網代モ年ヲ追フテ其價值ヲ失墜スルノ状態ニアリ而シテ縣下漁民ノ多クハ沖合漁業ニ對シテ比較的經驗ト智識トヲ併有スルモノアリト雖モ定置漁業ニ到リテハ唯ダ僅カニ掛網ニ多少ノ經驗ヲ有スルノミニシテ大敷網大謀網其他ノ定置漁業ニ就テハ智識薄ク經驗淺クシテ徒ラニ多ハ縣外人ノ經營ニ任セ漁場貸付料ノ收入ニノミ諾々トシテ毫モ定置漁業ノ進歩改良ヲ計リ以テ自己ヲ利シ漁村ノ疲弊ヲ挽回セントスル策ニ出ルモノナシ依テ本場ハ之カ改良發達ヲ計リ併セテ未開ノ漁場ヲモ探知開拓セン事ヲ期シ其前提トシテ大正四五ノ兩年度ニ亘リ定置漁業適否調査ヲ施行セリ其結果糸島郡船越浦鷺首ニ漁場ヲトシ大正六年度ヨリ秋冬ノ候ニ於テ向フ三ヶ年間小臺網漁業ノ試驗ヲ施行シタリ

抑モ本試驗ヲ施行スルニ當リ特ニ小臺網ヲ撰定セシ所以ハ主トシテ沿岸一圓ニ亘ル漁場ガ其性質上自カラ内海的漁場ニ富ムヲ以テ寧ロ隨所ニ應用セラレ得ル小規模ノ該網ニヨリ確實ナル收益ヲ擧ケシム

ルニ如カサルヲ以テ也然カモ從來ノ大敷網ガ唯ダ回游魚族ノミヲ目的トシ捕獲シ得ルニ反シ該網ハ底魚ヲモ捕獲シ得ル極メテ便利ナル漁具ニシテ而モ其使用法モ亦頗ル簡單ナリ且ツ距岸遠カラサル位置ニ布設スルモノナルヲ以テ老人或ハ小兒ニテモ容易ニ從漁シ得ラル、ノミナラス作業ハ多ク一日二回又ハ三回網ヲ繰リ起スニ過キサルヲ以テ他漁業ノ副業トシテ亦頗ル有利ナリトス殊ニ風浪アリテ外海ノ漁業不可能ナルニ際シテモ適當ノ場所ニ建設シタル本網ハ容易ニ從漁シ得ラル、ニヨリ或ル程度迄ハ荒天ニ於テ魚類ヲ供給シ得ラル、等ノ便アリ是レ本場ガ茲ニ本小臺網漁業試験ヲ施行シタル趣旨ニシテ試験ノ經過及成績ハ以下順ヲ追フテ詳述セントス

一、組 織

本試験ハ該地糸島郡小富士村船越漁業組合ト共同試験ノ方法ヲ執リ初年度ニアリテリハ漁具一切茲ニ是レニ要スル消耗品及船頭一名ヲ提供シ全組合ハ漁夫全部及漁船一切ヲ提供セシメ次年度ヨリハ更ニ船頭ヲモ提出セシメ是レカ指揮監督ハ全部本場ノ任スル所トセリ
尙ホ漁獲高ハ歩合制度トシ全水揚高ノ三割ヲ本場全七割ヲ組合ノ所得トセリ

二、網具ノ構造

網具ハ垣網、乘網及袋網ノ三部ヨリ成リ垣網及乘網ハ共ニ藁繩製ノ網ヲ用ヒ袋網ハ全部綿糸製ノ網ヲ使用ス蓋シ垣網ハ魚道ヲ遮斷シテ其游泳方向ヲ一方ニ轉セシメ乘網ハ之レヲ自然ニ誘致シテ網上ニ來

シメ然ル後テ遂ニ袋網ニ陥ラシムル趣向ニ外ナラス而シテ袋網ノ口ニハ別ニ漏斗狀ノ返シ網ヲ附スルヲ以テ一旦袋網中ニ陥入シタル魚類ハ容易ニ脱出スルコト能ス袋網中ヲ轉々回游セシムルモノナリ捕魚ニ際シテハ袋網ト乘網ノ接合部ヲ海面ニ曳上ケ魚ノ脱出ヲ防ギ然ル後潮流ノ方向ニヨリ臺ノ一方ヨリ順次ニ網ヲ水面ニ繰リ起シ魚ヲ袋網魚取部ニ蒐メ捕獲スルモノトス今左ニ各局部ノ構造ヲ詳記ス
ヘシ

一、袋網 圖說 第一圖參照

緣 網

胴中網ノ緣網 マニラ麻ニ子撚徑二分長サ二十八尋ノモノ一條十五尋ノモノ二條

返網ノ上緣網 マニラ麻ニ子撚徑二分長十二尋一條

返網ノ緣網(乘網トノ接合部) 麻徑二分三子撚長サ十七尋一條

ぼたん及びどんば

ぼたん ミゴ繩ニ子撚徑二分五厘長二尺五寸ノモノ袋網ノ緣網七寸毎ニ結付ス

どんば ミゴ繩ニ子撚徑二分長サ三尺ノモノヲ折返シタルモノ八十六本乗トノ接合部返網ノ緣

網十七尋ニ九寸六分間隔ニ結付ス

浮子及浮子網

浮子(返網ニ結付セラル、モノ)桐製長六寸巾二寸五分厚一寸三分浮子網五間ニ付キ二十五個浮子網スホ繩二子撚徑二分五厘長五尋及六尋ノモノ各一條

二乗網 圖說 第二圖參照

緣 網

乗網上緣網 藁繩三子撚六小極徑一寸長八十二尋ノモノ一條

乗網口ノ緣網全上八分長四十尋ノモノ一條

乗網兩袖ノ脇緣網 全上徑一寸長十四尋ノモノ各一條

沈子及びびく

沈子 石重量四五百々ノモノ乗網兩袖ノ裾ニ約一尋置ニ結付

びく 小石ヲ填充シテびく内ニ容レタルモノ重量約七八貫二個ヲ乗網兩袖ノ末端ニ各一ツ宛兩袖脇

緣網ニ結付サレタル鑽ヲ貫通セル立碇網ニヨリ沈下ス

三垣網 圖說第三圖參照

緣 網

浮子網 藁繩三子撚六本合徑一寸長三百尋ノモノ一條

脇緣網 藁繩三子撚六本合徑一寸長サ十一尋及十尋ノモノ各一條

びく及沈子

びく 小石ヲ填充シテびく内ニ容レ重量十貫ノモノ乗網兩端ノモノト全様ニ垣網沖側ノ末端ニ

沈下ス

沈子 石重量約一貫目内外ノモノ二百五六十個ヲ網裾ニ五尺乃至七尺毎ニ結付ス

四側 (第三圖參照)

側 網

袋網ノ側網 藁繩三子撚徑一寸五分長サ廿八尋及廿七尋ノモノ各一條乗網ノ側網全上長卅一尋ノ

モノ二條

垣網ノ側網 全長サ三百尋ノモノ一條

側 竹

袋網沖側網ノ浮竹 尺九九尺物十二本括

袋網像側網ノ浮竹 尺九九尺モノ七本二間モノ二本

乗網側網ノ浮竹 尺九九尺物四十五本

垣網側網ノ浮竹 尺九二間物約百七十本

腕

乘網ノ腕

垣網ノ腕

藁繩二子撚徑八分長一尋一尺物

冲側百六十二尋ニ於テ浮竹ノ兩端ニ各一本宛結付ス

五渡網 (第三圖參照)

返網口ノ渡網 麻網二子撚徑三分五厘長竹二間

乘網口ノ渡網 藁網三子撚六ツ打徑寸長十一尋

乘網ノ渡網 全一長サ七尋二條

六曳上網

藁繩二子撚徑七分長十尋モノ二條

袋網口ノ閉塞ニ用 フルモノニシテ一端ハ網口側網ニ他端ハ乘網ト袋網トノ接合部ニ結付セラ

ル

七張碇網

冲張碇網 藁網三子撚九本打徑一寸二分長サ四十五尋ノモノ

臺矢引網 全上十二本打徑一寸三分長サ卅尋ノモノ

臺矢引ノ又網全上長十尋ノモノヲ折返シタルモノ

袋網及京網ノ張碇網 全上長廿五尋ノモノ

垣網ノ張碇網 全上九本打徑一寸二分長卅尋ノモノ

八立碇網

京網ノ立碇網 藁網三子撚六本打徑一寸長十二尋半ノモノ二十八條

九碇

臺ノ碇 重量約一俵十六七貫ノモノ十四俵括壹個宛

冲側ノ大碇全 上 八俵括

袖網ノ張碇全 上 八俵括

袋網ノ張碇全 上 六俵括

乘網ノ張碇全 上 四俵括

垣網ノ張碇全 上 六俵括

垣網兩端ノ張碇全 上 五俵括

立碇 全 上 參俵括

一〇浮臺

杉丸太徑八寸長九尺モノ二本

一一浮竹

臺矢引ノ浮竹 竹六七寸丸二間物八本括二挺

沖側大碇綱及乗セ兩袖ノ張碇綱ノ浮竹六七寸丸二間物九本括

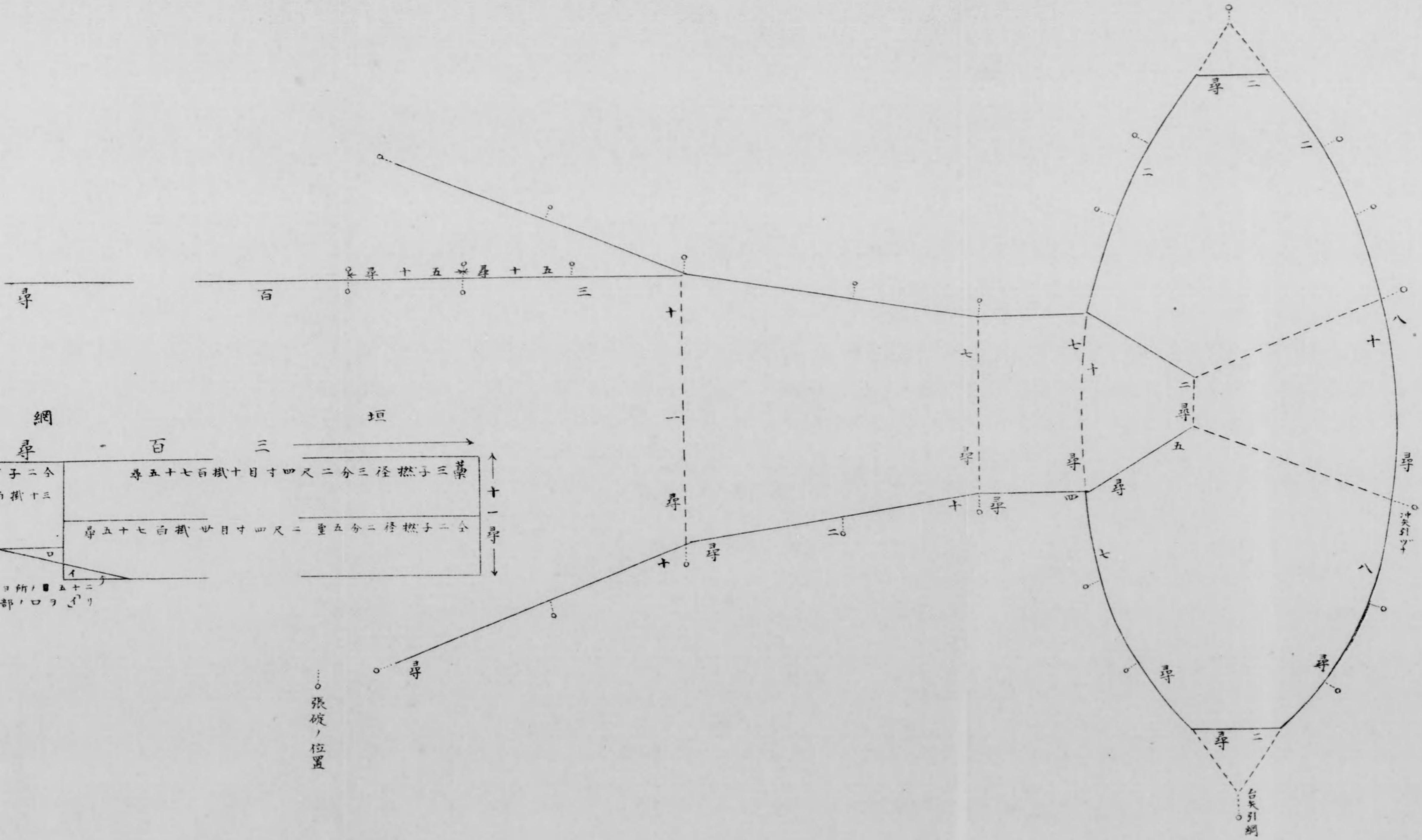
其他ノ張碇綱ノ浮竹 六七寸丸一間半物四挺及六本括

四、建込法

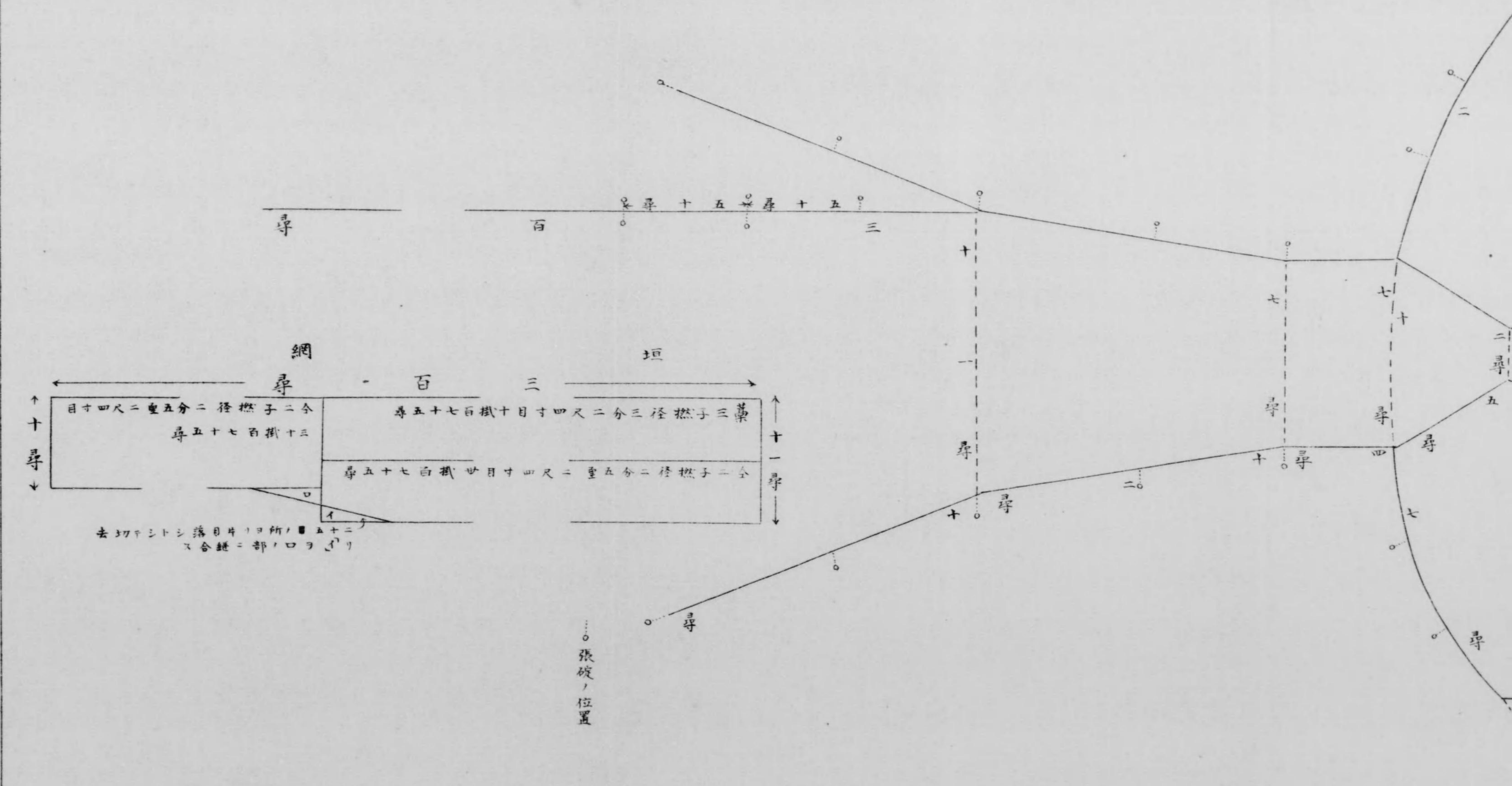
網具ノ構造如何エ巧妙精緻ナリト雖モ素ヨリ定置漁業ナルガ故ニ漁況ノ豊凶ハ一ツニ魚群來游ノ如何ニ左右セラルモノタルヤ勿論ナリ即チ漁具ハ建込位置ノ撰定ヲ以テ最緊要ナル事項トナス所以ニシテ沿岸ノ地勢潮流ノ方向漁具ノ圖面及緩急、波浪ノ強弱水深底質地盤ノ狀態及魚道等ヲ精査シタル後魚族ヲシテ知ラス識ラスノ裡ニ垣網ヲ傳フテ袋網中ニ陥ラシムルガ如ク袋網ノ位置及垣網ノ方向ヲ決定セサルベカラサルモノ也

而シテ普通垣網ヲ建設スルニ二種ノ様式アリ一ツハ兩口ト稱シ乘網ノ中央ヨリ岸ニ向ヒテ建設シ魚族ヲシテ垣網ノ兩側ニ傳ハシメツ、袋網中ニ陥ラシムモノ他ハ片口ト稱シ乘網ノ一端ニ連續シテ垣網ヲ建設スルモノニシテ魚群ヲシテ其一方ヲ傳ハラシムルモノ是等ハ魚道ノ狀況ニヨリ這宜選定スルモノナルニヨリ本漁具ハ其ノ漁場ノ關係上兩口ヲ採用シ然カモ入込ミノ魚類多キヲ豫想シテ七分三分ノ片

第 參 圖
布 設 平 面 圖



第 參 圖
布 設 平 面 圖



口トナシタリ茲ニ於テ先ツ袋網ノ位置ヲ決定セサルヘカラス即チ兩臺ノ見通線上ニ於ケル其中心點ヲ豫想シ然ル後「山立テ」ニヨリ其位置ヲ決定スルモノナリ、是レ袋網ノ重要點ナルガ故ニ假浮標ヲ設ケ別ニ漁船一隻ヲ繫留シテ臺ノ碇ヲ投入セントスルニ二隻ノ漁船ヲ監視セシム兩臺ノ碇ハ各碇網二條ノ假網トニヨリ連結セラレタルガ故ニ適當ノ位置及方向ヲ保持スルニ至リタルキヲ見計ラヒ監視船ヨリ他二隻ノ漁船ニ合圖シテ同時ニ碇ヲ沈下セシム一方豫メ陸上ニ於テ用意セラレタル袋網ノ側網ト假網ヲ取換ヘ後チ碇網ヲ締結スルモノトス

然ル後沖側大張碇ヨリ其他ノ張リ碇ヲ漸次投入沈下セシム袋網ノ形狀ヲ完成スルモノトス」次ニ乘網兩側網ノ各一端ヲ袋網側網ニ連結シ其他端ハ張碇ヲ經テ碇ヲ沈下シ其ヨリ其他ノ張碇及立碇ヲ沈下シタル後垣網ノ側網ヲ張碇及立碇ヲ建設スルコト前記ト全方法ヲ以テス
斯クノ如クシテ友体ノ形狀ヲ作り最後ニ袋網乘網及垣網ヲ取付クルモノナリ而シテ之ヲ建設スルニ當リ最モ注意ヲ要スル點ハ網ノ布設形狀ニシテ垣網ハ魚類ノ誘導ニ支障ナカラシムル様設置スルハ勿論乘網ノ傾斜ノ度合袋網口ノ状態及返網ノ形狀明暗等モ亦魚類捕獲上至大ノ關係アルヲ以テ周到ノ注意ヲ要スルモノトス

右建込ミニ要スル船ハ肩九尺内外ノモノ二隻五尺四五寸ノモノ五隻合計七隻ニシテ人夫ノ如キモ普通四十名内外ニテ足レリト雖モ初年ニ於テハ使用人夫悉ク不熟練ナリシ爲メ人夫六十名ヲ要セリ

五、使用法

網ノ繰リ起シニ要スル「起シ船」ハ船足強キ肩六乃至七尺ノ六人乗リノモノト外ニ肩四尺六五寸ノ二人乗傳馬ヲ備ヘ盛漁期ニ際シ鯧群ノ來游頻々ナル場合ニハ漁夫ヲシテ絶ヘス該傳馬船ニ乗船セシメ魚群ノ動靜ヲ監視セシム普通ノ場合ハ一日二回乃至二回繰起スモノトス「網ヲ繰起スニハ先ツ手船ニヨリ網口ヲ引上ゲシメ然ル後チ起船ハ其ノ時ノ潮流ノ方向ニヨリ潮上側ナル魚取部ヨリ漸次網ヲ繰リ起スモノナリ船ハ此際次第ニ網奥ニ進入スルモノナレバ若シ潮流或ハ風速ノ強烈ナルハ船ハ網外ニ流出セントスルヲ以テ槍網ニヨリ其位置ヲ保チ繰リ起スモノトス、起船ノ網口ヲ繰起シタルハ手船ハ引上綱ヲ放シテ魚取部ノ外側ニ到リ起船ノ近寄ルヲ待チ起船ト共ニ魚取ヲ圍ミテ捕魚スルモノナリ、而シテ漁獲少量ノ際ハ普通手船ニ積ミ込ムモノナレバ稍ヤ多量ナルハ起船ニ積載シ尙不足ナルハ漁村ノ援助ヲ待ツヲ常トス

六、替網法

元來瞬間ヲ爭フ定置漁業ニアリテハ替へ網ノ設備ヲ最モ必要トス、是レ綿糸網ハ腐敗ニ傾キ易キガ故ニ若シ替網ノ設備ナク同一網地ヲ永ク海中ニ放任スルハ腐敗ノ度速カナルヲ以テ約一週間毎ニ必ス揚網シテ之レヲ施染乾燥セシム

替網ハ幸ニばたんヲ結付シ置キ投入ニ支障ナカラシメ本網揚網後ハ直チニ二隻ノ漁船ニヨリ替網ノぼ

たんヲ結付シツ、投網スルコト敷込當時ニ於ケルト全様ナリ

初年度ノ試験ニ於テハ經費ノ都合上替網ヲ調製スルコト能ハサリシヲ以テ本網ノ施染及乾燥手入ニ從事シタル間ハ乍遺憾漁場ヲ放置シテ拱手望觀スルノ已ムナキニ至リ爲メニ漁期ヲ逸シタルモノアリシモ次年度ニ於テ是レヲ補給シ水温ノ高キ際ハ一週間乃至十日毎ニ施染スルカ又ハ乾燥セサルベカラス

七、收網法

先ツ二隻ノ漁船ヲ使用シテ袋網ノ「ばたん」ヲ切落シタル後潮上側ノ奥取部ヨリ揚網シ乗網トノ接着部ニ達シタル時ハ「くも」ヲ切斷シテ行フモノトス

揚網後ハ數回之レヲ洗滌シ直チニ網干場或ハ芝生ノ上ニ乾燥シ徐々ニ「ばたん」及浮子ヲ取除キテ干燥ヲ平均ナラシム

次ニ肩八九尺ノ漁船二隻及肩五六尺ノ漁船又ハ傳馬船五隻ヲ使用シテ乗網垣網及側網其他ノ碇網ヲ引揚グ即チ大型漁船一隻ト小型漁船二隻トハ乗網ノ引揚ニ他ノ二隻ハ網切鎌ヲ使用シテ碇網切斷ヲ掌ルモノトス

此際小型漁船ハ鎌ヲ以テ乗網及垣網ノ腕ヲ順次ニ切放チテ大型漁船ノ網棹取リニ支障ナカラシムルト共ニ立碇網ヲ側網ヨリ取外シ浮標ヲ付シツ、碇網切船ニ渡スモノトス

斯ノ如クシテ取外サレタル側網ハ漁船數隻ニヨリ引曳シツ、網乾場ニ漕キ行クヲ普通トスルモ漁船ニ

積載シテ之レヲ運搬スルモ可ナリ」乘網及垣網ハ縁網ヲ解キ側網ハ側竹ヲ切放チ夫々乾燥手入スルモノト雖モ側竹ハ日光ニ曝スルハ直チニ日割レヲ招クヲ以テ床下等ニ圍置クモノトス乘網ハ乾燥後鼠害等ヲ蒙ラサル倉庫ニ格納シ藁網ハ納屋其他濕潤セサル場所ニ格納スルモノトス

八、試験ノ經過概要

本試験ヲ施行スルニ當リ特ニ船越浦鷺首漁場ヲ選定セシ所以ト網代ノ優秀ナルカ爲メニ非ス實ニ本場豫算ノ範圍内ニ於テ試験シ得ヘキ格好ノモノタルヲ必要ト感シタルカ爲メナリ抑モ定置漁業ハ網代ノ資格ニ適應スル規模ノ漁具ヲ布設シテ經濟的利益ヲ收得スルヲ以テ最モ肝要ナル事項トナスガ故ニ不充ナル本場豫算ノ如キヲ以テセバ寧ろ雄大ナラサル鷺首漁場ヲ適當トナスノミナラス試験ノ趣旨及其結果ノ普及上最モ便ナルヲ以テ敢ヘテ本場ヲ撰定セル所以ナリ

漁具ノ構造ハ初年度ニアリテ裏網ハ全部網目十五節ノモノヲ使用セシカ小鰻ハ刺シ目スルモノ多キヲ以テ次年度ヨリ縁網ハ十六節胴中網ハ全部十八節ニ改メ且ツ胴中網ハ其反數二十反ニシテ網ノ擴カリ不充ナルノ嫌アリテ其反數三割ヲ増シ二十六反トナシ其缺點ヲ補ヒ得タリ(第一圖參照)尙ホ之レニ伴ヒ「返シ網」魚取網」モ網目十八節ニ改メ前者ハ反數二十反ヲ廿六反ニ後者ハ八反ヲ十反ニ増セリ漁業ノ成績ヲ見ルニ初年度ニ於テ漁具ノ製作其他準備ノタメ豫定ノ布設時期ヲ失シ十一月十三日ヨリ十二月廿二日マテ僅カニ四十日間ニシテ恰モ小鰻ノ主要漁期ヲ逸セルト漁具ノ構造ニ不備ナルモノアリテ

漁獲高五百餘圓ニ過キス所期ノ成績ヲ得ス尙ホ次年度ニアリテハ之レニ鑑ミ漁具ヲ改造シ豫メ諸般ノ準備ヲ了シ十月十六日ヨリ試験ニ從事セルモ恰モ七年度ハ小鰻稀有ノ不漁ニ會シ殊ニ終期ニアリテハ時化多ク操業日數殺減セラレ十二月廿二日ヲ以テ終決シ其漁獲高四百四十餘圓ニ過キス一部當業者間ニ於テ漁場ノ位置操業ノ方法ニ付キ非難ヲ招キシモ翌八年度ニ於テ十月十八日ヨリ十二月廿六日七十七日間ノ試験操業ニ於テ三千五百餘圓ノ漁獲ヲ擧ケ一般漁業者間ニ於テモ魚鮮ノ來游續多ナル時期ニアリテハ本漁業ハ資金僅少操業簡易ニシテ漁利巨大ナルヲ旨肯セシメ翌年度ヨリハ該組合ニ於テ數年ノ經驗ニ鑑ミ單獨經營セントスルニ至レルヲ以テ茲ニ本場所期ノ目的ヲ達シタルヲ以テ本試験ヲ終了セリ尙ホ試験日誌左ノ如シ

九、試験日誌及漁獲表

大正六年度

大正七年度

大正八年度

月日	天候	風向	風力	氣温	水温	比重	漁獲物種	獲量	金額	記事
拾一 六月	曇						イワシ	一、六七	三、八〇	完漁業標準
一七日	晴	西北					イワシ	一、〇四	三、〇四	終日漁獲
一八日	晴	北					イワシ	一、〇〇	三、〇〇	終日漁獲
一九日	晴	無					イワシ	一、〇〇	三、〇〇	終日漁獲
二〇日	晴	無					イワシ	一、〇〇	三、〇〇	終日漁獲
二一日	曇	北					イワシ	一、〇〇	三、〇〇	終日漁獲
二二日	晴	北					イワシ	一、〇〇	三、〇〇	終日漁獲
二三日	晴	北					イワシ	一、〇〇	三、〇〇	終日漁獲
二四日	晴	北					イワシ	一、〇〇	三、〇〇	終日漁獲
二五日	晴	北					イワシ	一、〇〇	三、〇〇	終日漁獲

月日	天候	風向	風力	氣温	水温	比重	漁獲物種	獲量	金額	記事
十 六月	晴	無					イワシ	三、〇五	九、四、〇三	
二七日	晴	西北					イワシ	三、七九	一一、〇八	
二八日	晴	東					イワシ	三、八五	一一、一五	
二九日	雨	東南					イワシ	五、〇〇	一五、〇〇	
三〇日	雨	南					イワシ	七、五五	二一、〇〇	
三一日	晴	無					イワシ	二、四〇	七、二〇	
十一月	曇	東					イワシ	三、九〇	一一、〇九	袋網破損
二日	雨	東南					イワシ	一、〇〇	三、〇〇	
三日	晴	西南					イワシ	一、一五	三、四〇	
四日	曇	無					イワシ	二、一五	六、四六	
五日	雨	西南					イワシ	一、〇〇	三、〇〇	
六日	雨	北					イワシ	一、〇〇	三、〇〇	
七日	曇	西北					イワシ	一、〇〇	三、〇〇	

一五

一四

漁獲高一覽表

月別	年	大正六年度		大正七年度		大正八年度	
		數量	金額	數量	金額	數量	金額
拾月中旬	自十一日至廿日			三二、九九		三七一、七三	
全下旬	自廿一日至卅一日			一六六、〇九		一、一九四、三五	
拾壹月上旬	自一日至十日			四八、八六		二五八、八五	
全中旬	自十一日至廿日			四二、六六		一九二、二四	
全下旬	自廿一日至卅一日			一〇九、一一		一七六、九〇	
拾貳月上旬	自一日至十日			二二、八九		四九七、二五	
全中旬	自十一日至廿日					五五五、二三	
全下旬	自廿一日至卅一日					二四七、八六	
合計		五〇八、七五		四四二、五六		三、四九四、〇九	

漁獲物内譯

品名	數量	大正六年度		大正七年度		大正八年度	
		數量	金額	數量	金額	數量	金額
鯷		六〇〇、八斗	四三、四〇	一四〇、八一斗	二四、三八	一、九四、七七斗	三、一四八、八二
雜魚		四、〇六尾	七、三五	四、二八尾	二八、二八	二、〇九尾	三四七、二七
合計			五〇八、七五		四三、五六		三、四九四、〇九

備考雜魚ノ主ナルモノハ小鰭、小鯖、柔魚、魷等トス

大正十一年 月 日 印刷
大正十一年 月 日 發行

福岡縣水產試驗場

福岡市福岡吳服町六八

印刷者 田口勝成

福岡市福岡吳服町六八

印刷所 田口印刷所

377
403

終